



2018年3月期第3四半期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2018年2月8日

2018年3月期 第3四半期 決算概要

テルモ株式会社
常務執行役員
北畠 一明

2018年2月8日

ハリケーンの影響をはねのけ好調堅持

(億円)

	16年度Q3累計	17年度Q3累計	増減率	為替除く 増減率
売上高	3,744	4,370	+17%	+12%
粗利益	2,037 (54.4%)	2,447 (56.0%)	+20%	+15%
一般管理費	1,203 (32.2%)	1,436 (32.8%)	+19%	+15%
研究開発費	245 (6.5%)	287 (6.6%)	+17%	+14%
営業利益	589 (15.7%)	724 (16.6%)	+23%	+14%
(のれん等償却除く)	731 (19.5%)	943 (21.6%)	+29%	+21%
経常利益	522 (13.9%)	707 (16.2%)	+35%	
純利益	318 (8.5%)	635 (14.5%)	+99%	
期中平均レート	USD 107円	112円		
	EUR 118円	129円		

- 売上高 : ハリケーンの止血デバイスへの影響は軽微。心臓血管カンパニーが牽引し二桁伸長を維持
- 営業利益 : 全カンパニーにおいて二桁伸長を継続
- 経常利益 : 前年同期の為替差損 (37億) に対し、今年度は差益 (2億)
- 純利益 : 米国税制改革による、法人税等の一過性の減少 (140億) もあり純利益が倍増

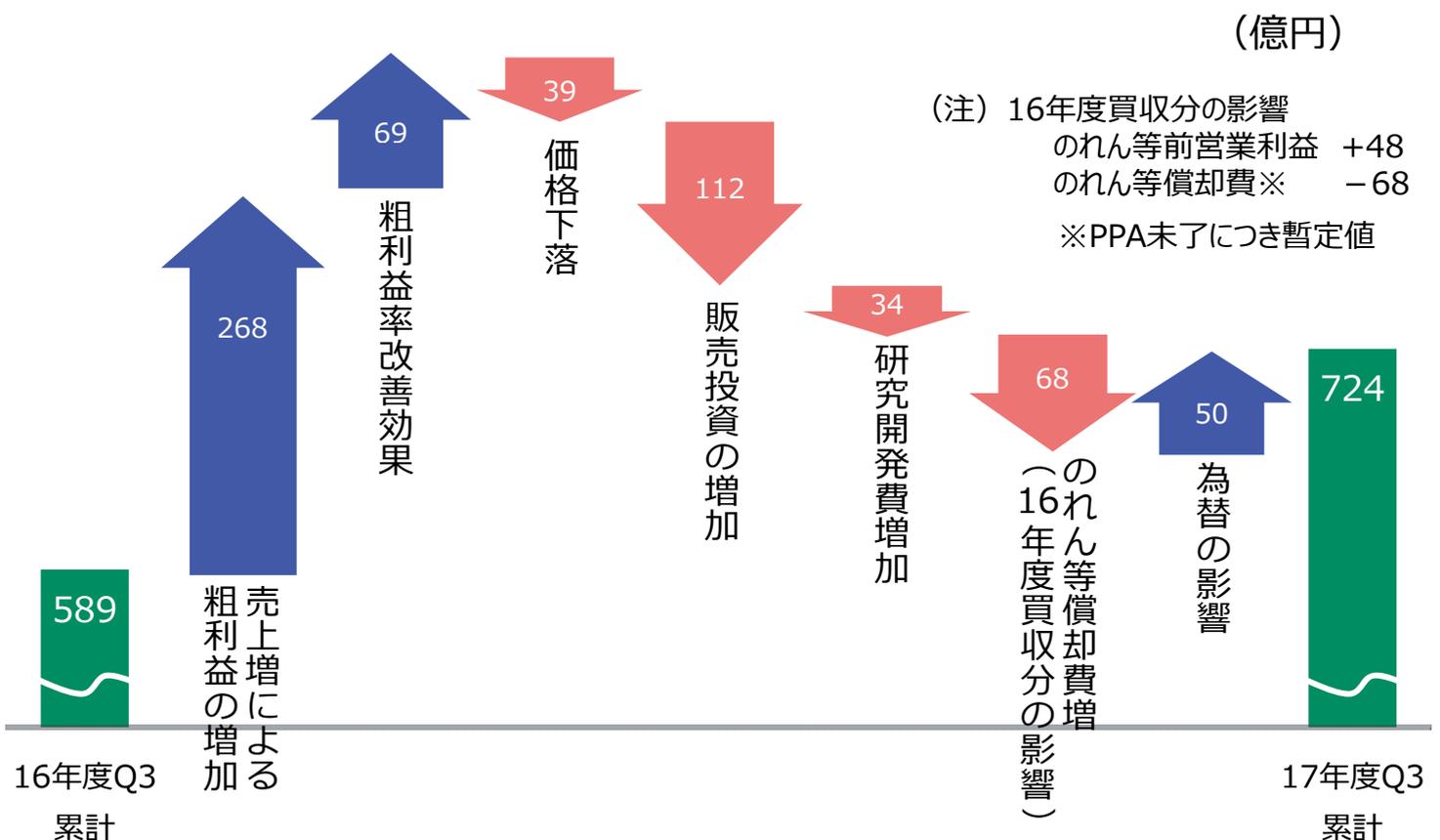
米国税制改革の影響

■ 米国税制改革により、法人税（連邦税）税率が35%から21%に引き下げ

- 法人税税率引き下げによる繰延税金資産・負債の再評価等の結果、
17年度Q3において法人税等の一過性の減少が発生し純利益を押し上げた（140億円）
- 一過性の純利益の増加は税効果会計による影響であり、キャッシュフローには影響しない
- Q4以降の減税効果として純利益・キャッシュフローは増加を見込む

■ メディカルデバイスタックスは凍結期間が延長（18年1月～19年12月）

営業利益増減分析



地域別売上高

■ 17年度Q3累計

■ 16年度Q3累計

売上高

100% = 4,370億円

売上額前年比較

	金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く			
日本	1429 1396	+2%	アクセスや血管内診断デバイスを中心にTISが牽引。ホスピタルでは、輸液ラインの好調に加えポンプが回復しプラス伸長へ
欧州	861 683	+26% (+17%)	全カンパニーで二桁伸長達成
米州	1263 989	+28% (+22%)	全カンパニーでプラス伸長。心臓血管は大幅伸長を継続。血液システムは安定成長へ
中国	312 253	+23% (+18%)	為替を除いても、心臓血管の全事業、および血液システムが二桁伸長を継続
アジア他	504 422	+20% (+13%)	心臓血管の全事業と血液システムが二桁伸長を継続



カンパニー別売上高

■ 17年度Q3累計

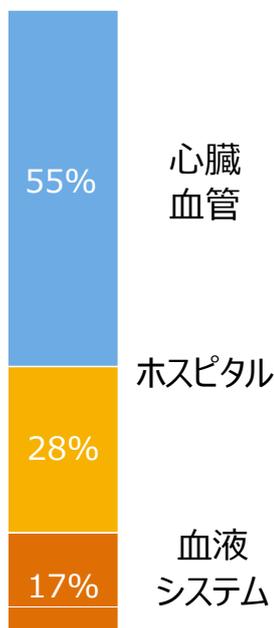
■ 16年度Q3累計

売上高

100% = 4,370億円

売上額前年比較

	金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く			
心臓血管	2400 1866	+29% (+23%)	買収を除いても全事業で二桁伸長を継続。ハリケーンの止血デバイスへの影響は軽微。既存事業は為替を除いても二桁伸長
ホスピタル	1202 1190	+1% (0%)	海外は低収益事業の整理。国内においてポンプ買い控えの緩和に加え、輸液ラインや疼痛緩和製品が牽引し、全体でプラス伸長へ
血液システム	765 687	+11% (+6%)	新興国を中心に血液センター向け製品が二桁伸長を継続。アフエリス治療は、北米中心に一時的な買換え需要を受け伸長



心臓血管：大幅な増収増益を継続

(億円)

	16年度 Q3累計	17年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	1866	2400	+29% (+23%)	為替の影響	+113
				TIS : 海外における既存アクセス製品の牽引 に加え、止血デバイスが大きく貢献	+289
				ニューロ : ハイドロゲルコイルや吸引カテーテルが 引続き牽引	+56
				CV : 米アナーバー工場品の出荷再開	+29
				血管 : 買収したステントグラフトが順調に推移	+47
事業利益 (率)	475 (25%)	619 (26%)	+30% (+20%)	ハリケーンの影響が軽微にとどまり、止血デバイスが大幅増益に貢献。全般的に高価格市場の米国で大きく伸長したことにより高収益性を維持	



7/13

ホスピタル：売上がプラス伸長へ

(億円)

	16年度 Q3累計	17年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	1190	1202	+1% (0%)	為替の影響	+16
				医療器 : 国内は回復基調のポンプと好調な 輸液ラインにより前年レベルへ 海外の低収益事業の整理	-5
				医薬品 : 癒着防止材の展開開始	+4
				ヘルスケア : 低収益な国内外アカウントの整理	-6
				アライアンス : 海外、医薬品同梱品の伸長	+3
事業利益 (率)	178 (15%)	208 (17%)	+17% (+14%)	海外における低収益事業の整理。 国内は輸液ラインや疼痛緩和製品の大幅コスト減に加え、開発費の戻り(アライアンス)がQ2に発生	



8/13

血液システム：収益性の改善基調続く

(億円)

	16年度 Q3累計	17年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	687	765	+11% (+6%)	為替の影響 (対ドル ユーロ安)	+39
				血液センター : 新興国の二桁伸長継続	+18
				アフレスシス治療 : 後継装置への切り替え 特需 (+10)	+20
事業利益 (率)	103 (15%)	124 (16%)	+20% (+19%)	新興国における血液センター向け製品の物量増による粗利益率の向上に加え、高収益なアフレスシス治療製品が北米を中心に拡大しミックスが改善	

主なトピックス①

全社

- CSR活動：「テルモ富士山森づくり」15周年 地域の方々と植林や森林整備を実施（10月）
- 名古屋・大阪でも株主向け説明会を実施 株主との対話を促進（11、12月）



事業

- 日本初のパッチ式インスリンポンプ「メディセーフウィズ」の製造販売承認を取得（11月）
- テルモ山口に新棟建設（12月） TIS生産体制強化の為300億円投資



主なトピックス② 止血デバイス「Angio-Seal」再出荷

- 10月中旬：段階的に生産を再開
- 12月下旬：地域の送電安定
- 1月初旬：在庫積上げ後、顧客への出荷を再開



インパクト

- 日欧は在庫でマネージし影響は限定的。
米国はバックオーダーに（1月末に解消）
- 11・12月のグローバル売上は従来の半分に減少



17年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域
心臓	PTCAバルーン	米: Q4
ペリ フェラル	ステント(TRI)	★ FY18
	PTAバルーン(TRI)	★ FY18
	PTAガイドングシース(TRI)	★ FY18
	薬剤塗布バルーン	◎ ★ 欧: Q4
	塞栓コイル	◎ 済み
	脳	プロテクションデバイス
	ハイドロゲルコイル3D	済み
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ	★ 済み

領域	製品	地域
CV	人工心肺装置(再出荷)	◎ 済み
	次期・人工肺	◎ 日・欧・米 FY18
医療器	縦型・輸液ポンプ	日: 済み
	抗がん剤暴露防止システム	済み
DM	パッチ式・インスリンポンプ	★ 日: 承認
血液	次期・成分採血装置ソフトウェア	日: 済み

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

業績予想の修正

- 売上 : TISやニューロの好調を考慮。加えて、血液システムにおけるアフエレス治療の後継装置への切り替え特需など、一過性要素を反映
- 営業利益 : 止血デバイスへのハリケーン影響を乗り越え、下期業績予想を達成する見通し
- 純利益 : 米国税制改革の影響を反映

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
従来予想	5,750	820	795	530
今回修正予想	5,880	920	895	760
修正額	+130	+100	+100	+230

2018年3月期 第3四半期決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2017年3月期 第3四半期累計			2018年3月期 第3四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	26,371	102,282	128,654	28,755	9.0%	136,871	33.8%	165,626	28.7%
ニューロバスキュラー	2,100	17,558	19,659	2,210	5.2%	24,163	37.6%	26,373	34.2%
CV	7,435	21,546	28,982	7,577	1.9%	25,659	19.1%	33,236	14.7%
血管	1,438	7,837	9,275	2,005	39.4%	12,795	63.3%	14,801	59.6%
心臓血管カンパニー	37,345	149,225	186,570	40,548	8.6%	199,490	33.7%	240,038	28.7%
医療器	38,178	19,023	57,201	38,240	0.2%	19,552	2.8%	57,793	1.0%
D&D	32,809	-	32,809	33,103	0.9%	-	-	33,103	0.9%
DM・ヘルスケア	15,880	2,528	18,408	15,890	0.1%	2,270	-10.2%	18,160	-1.3%
ホスピタルシステム小計	86,868	21,551	108,419	87,234	0.4%	21,822	1.3%	109,057	0.6%
アライアンス	6,646	3,912	10,559	6,558	-1.3%	4,615	18.0%	11,174	5.8%
ホスピタルカンパニー	93,515	25,464	118,979	93,793	0.3%	26,438	3.8%	120,231	1.1%
血液システムカンパニー	8,577	60,114	68,692	8,368	-2.4%	68,141	13.4%	76,510	11.4%
その他	152	-	152	162	6.8%	12	-	174	14.8%
計	139,591	234,803	374,394	142,872	2.4%	294,082	25.2%	436,955	16.7%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥106.60)
(EUR1=¥117.98)

(USD1=¥111.69)
(EUR1=¥128.55)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2017年3月期 第3四半期累計	2018年3月期 第3四半期累計
営業キャッシュ・フロー	53,884	72,296
投資キャッシュ・フロー	△ 51,394	△ 29,198
フリーキャッシュ・フロー	2,489	43,098
財務キャッシュ・フロー	112,690	3,894
現金及び現金同等物の換算差額	332	1,857
現金及び現金同等物の増減	115,512	48,850
現金及び現金同等物の期首残高	146,927	105,046
現金及び現金同等物の期末残高	262,439	153,897

参考情報

	2017年3月期 第3四半期累計	2018年3月期 第3四半期累計	2018年3月期 見通し
研究開発費	24,519	28,682	40,000
設備投資額	24,776	28,622	46,500
減価償却費	32,428	41,955	56,000
一株当たり当期純利益(円)	87.67	180.36	215.70

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。